

開発優先度の高いワクチンについて

海外にも存在しないワクチン												
分類	ワクチン	国内の優先度 (5点)	世界の優先度 (3点)	合計点	順位	疾病負荷(国内)		疾病負荷(海外)		流行地への 渡航者数	開発の進捗 (国内)	コメント
						罹患	死亡	罹患	死亡			
海外に存在するが、 改良が望ましいもの	DTP-IPV-HBV-Hib/DPT-IPV-Hib/DPT-IPV-HBV	5.0	3.0	8.0	1	—	—	—	—	—		
渡航者 ワクチン	インフルエンザ	4.8	2.8	7.6	2	◎	○	◎	◎	—		
渡航者 ワクチン	百日咳ワクチン (無菌体でも全菌体でもないもの)	4.8	2.8	7.6	2	◎	△	◎	◎	—		
その他	C型肝炎ワクチン	5.0	2.6	7.6	2	△ or ◎	△ or ◎	◎	◎	—		
海外に存在するが、 改良が望ましいもの	MMR/MMRV/MRV	4.6	2.8	7.4	3	—	—	—	—	—		
その他	HPV(4価より多いもの)	4.6	2.6	7.2	4	○ (4価以外)	○ (4価以外)	◎	◎	—	第Ⅲ相臨床試験	
その他	HIVワクチン	4.6	2.6	7.2	4	○	△	◎	◎	—		
渡航者 ワクチン	結核ワクチン(non-BCG)	4.2	2.8	7.0	5	◎	◎	◎	◎	◎		
その他	RSVワクチン	4.8	2.2	7.0	5	◎	△	◎	◎	—		
その他	サイトメガロウイルスワクチン	4.4	2.4	6.8	6	◎	△	◎	○	—	第Ⅱ相臨床試験	
その他	ムンプス (日本株でもJeryl-Lynn株でもないもの)	4.2	2.4	6.6	7	◎	△	—	—	—		
改良 ワクチン (既存あり)	PCV(13価より多いもの)	4.2	2.4	6.6	7	○ (13価以外)	△ (13価以外)	○	△	—		
その他	単純ヘルペスワクチン	4.4	2.2	6.6	7	◎	△	◎	○	—		
その他	ノロウイルスワクチン	4.2	2.2	6.4	8	◎	○	◎	◎	—		
海外に存在するが、 改良が望ましいもの	髄膜炎菌ワクチン	3.8	2.4	6.2	9	△	△	—	—	◎		
その他	手足口病ワクチン	4.0	2.2	6.2	9	◎	△	◎	○	—		
改良 ワクチン (既存あり)	HBVワクチン	3.6	2.4	6.0	10	△ or ◎	△ or ◎	◎	◎	—		
海外に存在するが、 改良が望ましいもの	インフルエンザ(経鼻)	3.6	2.4	6.0	10	◎	○	—	—	—		
海外に存在するが、 改良が望ましいもの	帯状疱疹ワクチン	3.6	2.4	6.0	10	◎	△	—	—	—		国内では水痘ワクチンがそのまま使えるのでは。(日本小児保健協会)
混合 ワクチン	デング熱ワクチン	3.2	2.6	5.8	11	○	△	◎	◎	◎		
海外に存在するが、 改良が望ましいもの	腸チフスワクチン	3.4	2.4	5.8	11	△	△	—	—	◎		
その他	バルボウイルスワクチン	3.8	2.0	5.8	11	◎	△	◎	○	—		
その他	マイコプラズマワクチン	3.8	2.0	5.8	11	◎	△	◎	○	—		
混合 ワクチン	マラリアワクチン	3.0	2.6	5.6	12	△	△	◎	◎	◎		
海外に存在するが、 改良が望ましいもの	A-B型肝炎混合ワクチン	3.4	2.2	5.6	12	—	—	—	—	◎		
その他	MRSAワクチン	3.6	1.8	5.4	13	◎	◎	◎	◎	—		
その他	EBウイルスワクチン	3.4	2.0	5.4	13	◎	△	◎	○	—		
その他	A群溶連菌ワクチン	3.2	2.0	5.2	14	◎	△	◎	◎	—		
混合 ワクチン	ウエストナイルワクチン	2.8	2.2	5.0	15	△	△	○	○	○		
その他	院内感染予防ワクチン	3.0	2.0	5.0	15	—	—	—	—	—		
その他	黄色ブドウ球菌ワクチン	3.0	1.8	4.8	16	◎	◎	◎	◎	—		
渡航者 ワクチン	熱帯病ウイルスワクチン	2.2	2.0	4.2	17	△	△	△	△	△		
海外に存在するが、 改良が望ましいもの	コレラワクチン	2.2	2.0	4.2	17	△	△	—	—	○		
海外に存在するが、 改良が望ましいもの	ダニ媒介性脳炎ワクチン	2.2	2.0	4.2	17	△	△	—	—	○		

注) 疾病負荷については、感染症発生动向調査、死亡統計及び論文情報等を基に、結核感染症課があくまで目安として暫定的に分類したものであり、科学的な評価を経たものではない。

開発の進捗状況については、日本ワクチン産業協会からいただいた情報であり、空欄のワクチンについても研究機関などにおいて基礎研究などが実施されている可能性はある。

◎: 患者又は死亡者が多くみられる

○: 患者又は死亡者が一定程度みられる

△: 患者又は死亡者の数は多くない

海外にも存在しないワクチン

分類	ワクチン	国内の優先度 (5点)	世界の優先度 (3点)	合計点	順位	疾病負荷(国内)		疾病負荷(海外)		流行地への 渡航者数	開発の進捗 (国内)	コメント
						罹患	死亡	罹患	死亡			
渡航者 ワクチン	結核ワクチン(non-BCG)	4.0	2.5	6.5	1	◎	◎	◎	◎	◎		
渡航者 ワクチン	インフルエンザ	4.5	2.0	6.5	1	◎	○	◎	◎	—		
その他	ムンプス (日本株でもJeryl-Lynn株でもないもの)	4.5	2.0	6.5	1	◎	△	—	—	—		
海外に存在するが、 改良が望ましいもの	インフルエンザ(経鼻)	4.5	2.0	6.5	1	◎	○	—	—	—		
その他	ノロウイルスワクチン	4.5	2.0	6.5	1	◎	○	◎	◎	—		
渡航者 ワクチン	百日咳ワクチン (無菌体でも全菌体でもないもの)	4.0	2.0	6.0	2	◎	△	◎	◎	—		
海外に存在するが、 改良が望ましいもの	MMR/MMRV/MRV	4.0	2.0	6.0	2	—	—	—	—	—		
海外に存在するが、 改良が望ましいもの	DTP-IPV-HBV-Hib/DPT-IPV-Hib/DPT-IPV-HBV	4.0	2.0	6.0	2	—	—	—	—	—		
混合 ワクチン	デング熱ワクチン	3.0	2.5	5.5	3	○	△	◎	◎	◎		
混合 ワクチン	マラリアワクチン	3.0	2.5	5.5	3	△	△	◎	◎	◎		
改良 ワクチン (既存あり)	PCV(13価より多いもの)	3.5	2.0	5.5	3	○ (13価以外)	△ (13価以外)	○	△	—		
渡航者 ワクチン	熱帯病ウイルスワクチン	3.0	2.0	5.0	4	△	△	△	△	△		
海外に存在するが、 改良が望ましいもの	髄膜炎菌ワクチン	3.0	2.0	5.0	4	△	△	—	—	◎		
その他	HPV(4価より多いもの)	3.0	1.5	4.5	5	○ (4価以外)	○ (4価以外)	◎	◎	—	第Ⅲ相臨床試験	
改良 ワクチン (既存あり)	HBVワクチン	3.0	1.5	4.5	5	△ or ◎	△ or ◎	◎	◎	—		
海外に存在するが、 改良が望ましいもの	A-B型肝炎混合ワクチン	3.0	1.5	4.5	5	—	—	—	—	◎		
海外に存在するが、 改良が望ましいもの	带状疱疹ワクチン	3.0	1.5	4.5	5	◎	△	—	—	—		
その他	MRSAワクチン	3.0	1.5	4.5	5	◎	◎	◎	◎	—		
その他	HIVワクチン	2.5	2.0	4.5	5	○	△	◎	◎	—		
その他	RSVワクチン	3.0	1.5	4.5	5	◎	△	◎	◎	—		
その他	マイコプラズマワクチン	3.0	1.5	4.5	5	◎	△	◎	○	—		
海外に存在するが、 改良が望ましいもの	腸チフスワクチン	2.5	1.5	4.0	6	△	△	—	—	◎		
海外に存在するが、 改良が望ましいもの	コレラワクチン	2.5	1.5	4.0	6	△	△	—	—	○		
その他	パルボウイルスワクチン	2.5	1.5	4.0	6	◎	△	◎	○	—		
その他	A群溶連菌ワクチン	2.5	1.5	4.0	6	◎	△	◎	◎	—		
その他	C型肝炎ワクチン	2.5	1.5	4.0	6	△ or ◎	△ or ◎	◎	◎	—		
混合 ワクチン	ウエストナイルワクチン	2.0	1.5	3.5	7	△	△	○	○	○		
その他	手足口病ワクチン	2.0	1.5	3.5	7	◎	△	◎	○	—		
その他	サイトメガロウイルスワクチン	2.5	1.0	3.5	7	◎	△	◎	○	—	第Ⅱ相臨床試験	
海外に存在するが、 改良が望ましいもの	ダニ媒介性脳炎ワクチン	2.0	1.0	3.0	8	△	△	—	—	○		
その他	黄色ブドウ球菌ワクチン	2.0	1.0	3.0	8	◎	◎	◎	◎	—		
その他	単純ヘルペスワクチン	2.0	1.0	3.0	8	◎	△	◎	○	—		
その他	EBウイルスワクチン	2.0	1.0	3.0	8	◎	△	◎	○	—		
その他	院内感染予防ワクチン	1.0	1.0	2.0	9	—	—	—	—	—		

注) 疾病負荷については、感染症発生動向調査、死亡統計及び論文情報等を基に、結核感染症課があくまで目安として暫定的に分類したものであり、科学的な評価を経たものではない。

開発の進捗状況については、日本ワクチン産業協会からいただいた情報であり、空欄のワクチンについても研究機関などにおいて基礎研究などが実施されている可能性はある。

◎: 患者又は死亡者が多くみられる

○: 患者又は死亡者が一定程度みられる

△: 患者又は死亡者の数は多くない

海外にも存在しないワクチン												
分類	ワクチン	国内の優先度 (5点)	世界の優先度 (3点)	合計点	順位	疾病負荷(国内)		疾病負荷(海外)		流行地への 渡航者数	開発の進捗 (国内)	コメント
						罹患	死亡	罹患	死亡			
渡航者 ワクチン	インフルエンザ	4.8	2.5	7.3	1	◎	○	◎	◎	—		
海外に存在するが、改良 が望ましいもの	DTP-IPV-HBV-Hib/DPT-IPV-Hib/DPT-IPV-HBV	4.5	2.5	7.0	2	—	—	—	—	—		
その他	C型肝炎ワクチン	4.3	2.8	7.0	2	△ or ◎	△ or ◎	◎	◎	—		
海外に存在するが、改良 が望ましいもの	MMR/MMRV/MRV	4.5	2.3	6.8	3	—	—	—	—	—		
その他	HIVワクチン	4.0	2.8	6.8	3	○	△	◎	◎	—		
その他	RSVワクチン	4.3	2.5	6.8	3	◎	△	◎	◎	—		
その他	ノロウイルスワクチン	4.3	2.5	6.8	3	◎	○	◎	◎	—		
その他	サイトメガロウイルスワクチン	4.0	2.3	6.3	4	◎	△	◎	○	—	第II相臨床試験	
混合 ワクチン	マリアワクチン	3.3	2.8	6.0	5	△	△	◎	◎	◎		現状で国内での感染の可能性はほとんどないが、海外からの輸入感染事例として報告されるので国内においても重要と考える。(日本感染症学会)
渡航者 ワクチン	百日咳ワクチン (無菌体でも全菌体でもないもの)	3.8	2.3	6.0	5	◎	△	◎	◎	—		
その他	ムンプス (日本株でもJeryl-Lynn株でもないもの)	4.0	2.0	6.0	5	◎	△	—	—	—		
その他	院内感染予防ワクチン	3.5	2.5	6.0	5	—	—	—	—	—		
混合 ワクチン	デング熱ワクチン	3.0	2.8	5.8	6	○	△	◎	◎	◎		現状で国内での感染の可能性はほとんどないが、海外からの輸入感染事例として報告されるので国内においても重要と考える。(日本感染症学会)
渡航者 ワクチン	結核ワクチン(non-BCG)	3.3	2.5	5.8	6	◎	◎	◎	◎	◎		
海外に存在するが、改良 が望ましいもの	髄膜炎菌ワクチン	3.5	2.3	5.8	6	△	△	—	—	◎		
海外に存在するが、改良 が望ましいもの	腸チフスワクチン	3.5	2.3	5.8	6	△	△	—	—	◎		
その他	マイコプラズマワクチン	3.5	2.3	5.8	6	◎	△	◎	○	—		
改良 ワクチン (既存あり)	PCV(13価より多いもの)	3.3	2.3	5.5	7	○ (13価以外)	△ (13価以外)	○	△	—		
海外に存在するが、改良 が望ましいもの	インフルエンザ(経鼻)	3.8	1.8	5.5	7	◎	○	—	—	—		国内での年少児への有効性と安全性に関する検討が望まれる(日本感染症学会)
海外に存在するが、改良 が望ましいもの	帯状疱疹ワクチン	3.5	2.0	5.5	7	◎	△	—	—	—		
その他	手足口病ワクチン	3.0	2.5	5.5	7	◎	△	◎	○	—		
その他	パルボウイルスワクチン	3.3	2.3	5.5	7	◎	△	◎	○	—		
その他	単純ヘルペスワクチン	3.5	2.0	5.5	7	◎	△	◎	○	—		
その他	A群溶連菌ワクチン	3.3	2.0	5.3	8	◎	△	◎	◎	—		
混合 ワクチン	ウエストナイルワクチン	2.5	2.5	5.0	9	△	△	○	○	○		
その他	HPV(4価より多いもの)	3.3	1.8	5.0	9	○ (4価以外)	○ (4価以外)	◎	◎	—	第III相臨床試験	
改良 ワクチン (既存あり)	HBVワクチン	3.0	2.0	5.0	9	△ or ◎	△ or ◎	◎	◎	—		
海外に存在するが、改良 が望ましいもの	A-B型肝炎混合ワクチン	3.0	2.0	5.0	9	—	—	—	—	◎		
その他	EBウイルスワクチン	3.0	2.0	5.0	9	◎	△	◎	○	—		
海外に存在するが、改良 が望ましいもの	コレラワクチン	2.8	2.0	4.8	10	△	△	—	—	○		
その他	MRSAワクチン	2.8	1.8	4.5	11	◎	◎	◎	◎	—		
渡航者 ワクチン	熱帯病ウイルスワクチン	2.0	2.3	4.3	12	△	△	△	△	△		
海外に存在するが、改良 が望ましいもの	ダニ媒介性脳炎ワクチン	2.5	1.8	4.3	12	△	△	—	—	○		
その他	黄色ブドウ球菌ワクチン	2.3	1.8	4.0	13	◎	◎	◎	◎	—		

注) 疾病負荷については、感染症発生動向調査、死亡統計及び論文情報等を基に、結核感染症課があくまで目安として暫定的に分類したものであり、科学的な評価を経たものではない。

開発の進捗状況については、日本ワクチン産業協会からいただいた情報であり、空欄のワクチンについても研究機関などにおいて基礎研究などが実施されている可能性はある。

◎: 患者又は死亡者が多くみられる

○: 患者又は死亡者が一定程度みられる

△: 患者又は死亡者の数は多くない

海外にも存在しないワクチン

分類	ワクチン	国内の優先度 (5点)	世界の優先度 (3点)	合計点	順位	疾病負荷(国内)		疾病負荷(海外)		流行地への 渡航者数	開発の進捗 (国内)	コメント
						罹患	死亡	罹患	死亡			
混合 ワクチン	デング熱ワクチン	5.0	3.0	8.0	1	○	△	◎	◎	◎		現状で国内での感染の可能性はほとんどないが、海外からの輸入感染事例として報告されるので国内においても重要と考える。(日本渡航医学会)
混合 ワクチン	マラリアワクチン	5.0	3.0	8.0	1	△	△	◎	◎	◎		現状で国内での感染の可能性はほとんどないが、海外からの輸入感染事例として報告されるので国内においても重要と考える。(日本渡航医学会)
海外に存在するが、改良が望ましいもの	MMR/MMRV/MRV	5.0	3.0	8.0	1	—	—	—	—	—		
海外に存在するが、改良が望ましいもの	DTP-IPV-HBV-Hib/DPT-IPV-Hib/DPT-IPV-HBV	5.0	3.0	8.0	1	—	—	—	—	—		乳児期の接種スケジュール緩和・接種負担の軽減・医療安全の観点から必要不可欠(日本渡航医学会)
その他	HIVワクチン	5.0	3.0	8.0	1	○	△	◎	◎	—		
その他	RSVワクチン	5.0	3.0	8.0	1	◎	△	◎	◎	—		
渡航者 ワクチン	結核ワクチン(non-BCG)	4.0	3.0	7.0	2	◎	◎	◎	◎	◎		
渡航者 ワクチン	インフルエンザ	4.0	3.0	7.0	2	◎	○	◎	◎	—		
海外に存在するが、改良が望ましいもの	髄膜炎菌ワクチン	4.0	3.0	7.0	2	△	△	—	—	◎		
海外に存在するが、改良が望ましいもの	腸チフスワクチン	4.0	3.0	7.0	2	△	△	—	—	◎		
その他	C型肝炎ワクチン	4.0	3.0	7.0	2	△ or ◎	△ or ◎	◎	◎	—		
混合 ワクチン	ウエストナイルワクチン	3.0	3.0	6.0	3	△	△	○	○	○		
渡航者 ワクチン	百日咳ワクチン (無菌体でも全菌体でもないもの)	4.0	2.0	6.0	3	◎	△	◎	◎	—		
改良 ワクチン (既存あり)	HBVワクチン	4.0	2.0	6.0	3	△ or ◎	△ or ◎	◎	◎	—		
その他	ノロウイルスワクチン	3.0	3.0	6.0	3	◎	○	◎	◎	—		
その他	手足口病ワクチン	3.0	3.0	6.0	3	◎	△	◎	○	—		
その他	ムンプス (日本株でもJeryl-Lynn株でもないもの)	3.0	2.0	5.0	4	◎	△	—	—	—		
その他	HPV(4価より多いもの)	3.0	2.0	5.0	4	○ (4価以外)	○ (4価以外)	◎	◎	—	第III相臨床試験	
改良 ワクチン (既存あり)	PCV(13価より多いもの)	3.0	2.0	5.0	4	○ (13価以外)	△ (13価以外)	○	△	—		
海外に存在するが、改良が望ましいもの	A-B型肝炎混合ワクチン	3.0	2.0	5.0	4	—	—	—	—	◎		現状のような国産A型肝炎ワクチンの供給不足が続くならば、A型・B型混合でなくても良いが、新たなA型肝炎ワクチンの開発は優先度「5」。国内承認製剤が入手できるワクチンで、渡航者への接種の優先度やニーズが最も高いワクチンが希望する国民すべてに普及できないのは実に嘆かわしい状況である。(日本渡航医学会)
海外に存在するが、改良が望ましいもの	インフルエンザ(経鼻)	3.0	2.0	5.0	4	◎	○	—	—	—		国内での年少児への有効性と安全性に関する検討が望まれる(日本渡航医学会)
海外に存在するが、改良が望ましいもの	帯状疱疹ワクチン	3.0	2.0	5.0	4	◎	△	—	—	—		
海外に存在するが、改良が望ましいもの	コレラワクチン	3.0	2.0	5.0	4	△	△	—	—	○		
海外に存在するが、改良が望ましいもの	ダニ媒介性脳炎ワクチン	3.0	2.0	5.0	4	△	△	—	—	○		
その他	パルボウイルスワクチン	3.0	2.0	5.0	4	◎	△	◎	○	—		
その他	サイトメガロウイルスワクチン	3.0	2.0	5.0	4	◎	△	◎	○	—	第II相臨床試験	
その他	単純ヘルペスワクチン	3.0	2.0	5.0	4	◎	△	◎	○	—		
その他	EBウイルスワクチン	3.0	2.0	5.0	4	◎	△	◎	○	—		
その他	マイコプラズマワクチン	3.0	2.0	5.0	4	◎	△	◎	○	—		
その他	A群溶連菌ワクチン	3.0	2.0	5.0	4	◎	△	◎	◎	—		
渡航者 ワクチン	熱帯病ウイルスワクチン	2.0	2.0	4.0	5	△	△	△	△	△		
その他	黄色ブドウ球菌ワクチン	2.0	2.0	4.0	5	◎	◎	◎	◎	—		
その他	MRSAワクチン	2.0	2.0	4.0	5	◎	◎	◎	◎	—		
その他	院内感染予防ワクチン	2.0	2.0	4.0	5	—	—	—	—	—		

注)疾病負荷については、感染症発生動向調査、死亡統計及び論文情報等を基に、結核感染症課があくまで目安として暫定的に分類したものであり、科学的な評価を経たものではない。

開発の進捗状況については、日本ワクチン産業協会からいただいた情報であり、空欄のワクチンについても研究機関などにおいて基礎研究などが実施されている可能性はある。

◎:患者又は死亡者が多くみられる

○:患者又は死亡者が一定程度みられる

△:患者又は死亡者の数は多くない

海外にも存在しないワクチン

分類	ワクチン	国内の優先度 (5点)	世界の優先度 (3点)	合計点	順位	疾病負荷(国内)		疾病負荷(海外)		流行地への 渡航者数	開発の進捗 (国内)	コメント
						罹患	死亡	罹患	死亡			
その他	HPV(4価より多いもの)	5.0	3.0	8.0	1	○ (4価以外)	○ (4価以外)	◎	◎	—	第III相臨床試験	子宮頸癌の予防効果を高めるためには4価以上の多価ワクチンは必須であるため。癌予防につながる重要なワクチンであるため。(日本産科婦人科学会)
その他	サイトメガロウイルスワクチン	5.0	3.0	8.0	1	◎	△	◎	○	—	第II相臨床試験	妊婦におけるCMV抗体保有率が低下している現況とCMV母子感染症による児の重症化と後遺症(難聴など)を防ぐため。(日本産科婦人科学会)
その他	単純ヘルペスワクチン	5.0	3.0	8.0	1	◎	△	◎	○	—		妊婦の不顕性感染から新生児ヘルペスを発症することがあり母子感染を防ぎきれない。罹患者の減少が最も確実な予防法であるため。(日本産科婦人科学会)
その他	C型肝炎ワクチン	5.0	3.0	8.0	1	△ or ◎	△ or ◎	◎	◎	—		HBVに対する母子感染対策が功を奏したように、HCVに対しても母子感染予防の手段として期待されるため。(日本産科婦人科学会)
混合ワクチン	デング熱ワクチン	4.0	3.0	7.0	2	○	△	◎	◎	◎		
混合ワクチン	マラリアワクチン	4.0	3.0	7.0	2	△	△	◎	◎	◎		
改良ワクチン (既存あり)	PCV(13価より多いもの)	4.0	2.0	6.0	3	○ (13価以外)	△ (13価以外)	○	△	—		
改良ワクチン (既存あり)	HBVワクチン	4.0	2.0	6.0	3	△ or ◎	△ or ◎	◎	◎	—		性行為感染による成人におけるHBV感染、蔓延を予防できるため。(日本産科婦人科学会)
海外に存在するが、改良 が望ましいもの	MMR/MMRV/MRV	4.0	2.0	6.0	3	—	—	—	—	—		
改良ワクチン (既存あり)	PCV(13価より多いもの)	4.0	2.0	6.0	3	○ (13価以外)	△ (13価以外)	○	△	—		
改良ワクチン (既存あり)	HBVワクチン	4.0	2.0	6.0	3	△ or ◎	△ or ◎	◎	◎	—		性行為感染による成人におけるHBV感染、蔓延を予防できるため。(日本産科婦人科学会)
海外に存在するが、改良 が望ましいもの	MMR/MMRV/MRV	4.0	2.0	6.0	3	—	—	—	—	—		
海外に存在するが、改良 が望ましいもの	インフルエンザ(経鼻)	4.0	2.0	6.0	3	◎	○	—	—	—		
海外に存在するが、改良 が望ましいもの	帯状疱疹ワクチン	4.0	2.0	6.0	3	◎	△	—	—	—		
その他	MRSAワクチン	4.0	2.0	6.0	3	◎	◎	◎	◎	—		
その他	ノロウイルスワクチン	4.0	2.0	6.0	3	◎	○	◎	◎	—		
その他	HIVワクチン	4.0	2.0	6.0	3	○	△	◎	◎	—		
渡航者 ワクチン	結核ワクチン(non-BCG)	3.0	2.0	5.0	4	◎	◎	◎	◎	◎		
渡航者 ワクチン	インフルエンザ	3.0	2.0	5.0	4	◎	○	◎	◎	—		
海外に存在するが、改良 が望ましいもの	DTP-IPV-HBV-Hib/DPT-IPV-Hib/DPT-IPV-HBV	3.0	2.0	5.0	4	—	—	—	—	—		
海外に存在するが、改良 が望ましいもの	A-B型肝炎混合ワクチン	3.0	2.0	5.0	4	—	—	—	—	◎		
海外に存在するが、改良 が望ましいもの	髄膜炎菌ワクチン	3.0	2.0	5.0	4	△	△	—	—	◎		
海外に存在するが、改良 が望ましいもの	腸チフスワクチン	3.0	2.0	5.0	4	△	△	—	—	◎		
海外に存在するが、改良 が望ましいもの	コレラワクチン	3.0	2.0	5.0	4	△	△	—	—	○		
海外に存在するが、改良 が望ましいもの	ダニ媒介性脳炎ワクチン	3.0	2.0	5.0	4	△	△	—	—	○		
その他	黄色ブドウ球菌ワクチン	3.0	2.0	5.0	4	◎	◎	◎	◎	—		
その他	RSVワクチン	3.0	2.0	5.0	4	◎	△	◎	◎	—		
その他	手足口病ワクチン	3.0	2.0	5.0	4	◎	△	◎	○	—		
その他	バルボウイルスワクチン	3.0	2.0	5.0	4	◎	△	◎	○	—		
その他	EBウイルスワクチン	3.0	2.0	5.0	4	◎	△	◎	○	—		
その他	マイコプラズマワクチン	3.0	2.0	5.0	4	◎	△	◎	○	—		
その他	A群溶連菌ワクチン	3.0	2.0	5.0	4	◎	△	◎	◎	—		
その他	院内感染予防ワクチン	3.0	2.0	5.0	4	—	—	—	—	—		
渡航者 ワクチン	百日咳ワクチン (無菌体でも全菌体でもないもの)	2.0	2.0	4.0	5	◎	△	◎	◎	—		
混合 ワクチン	ウエストナイルワクチン	1.0	2.0	3.0	6	△	△	○	○	○		
渡航者 ワクチン	熱帯病ウイルスワクチン	1.0	2.0	3.0	6	△	△	△	△	△		
その他	ムンプス (日本株でもJeryl-Lynn株でもないもの)	2.0	1.0	3.0	6	◎	△	—	—	—		

注) 疾病負荷については、感染症発生動向調査、死亡統計及び論文情報等を基に、結核感染症課があくまで目安として暫定的に分類したものであり、科学的な評価を経たものではない。

開発の進捗状況については、日本ワクチン産業協会からいただいた情報であり、空欄のワクチンについても研究機関などにおいて基礎研究などが実施されている可能性はある。

◎: 患者又は死亡者が多くみられる

○: 患者又は死亡者が一定程度みられる

△: 患者又は死亡者の数は多くない

海外にも存在しないワクチン

分類	ワクチン	国内の優先度 (5点)	世界の優先度 (3点)	合計点	順位	疾病負荷(国内)		疾病負荷(海外)		流行地への 渡航者数	開発の進捗 (国内)	コメント
						罹患	死亡	罹患	死亡			
渡航者 ワクチン	結核ワクチン(non-BCG)	5.0	3.0	8.0	1	◎	◎	◎	◎	◎		病原性が高いこと、感染者が多数存在することより、優先度は最も高い。(日本細菌学会)
渡航者 ワクチン	百日咳ワクチン (無菌体でも全菌体でもないもの)	5.0	3.0	8.0	1	◎	△	◎	◎	—		近年の患者数の増加より、優先度は最も高い。(日本細菌学会)
海外に存在するが、改 良が望ましいもの	髄膜炎菌ワクチン	5.0	3.0	8.0	1	△	△	—	—	◎		病原性の高さより優先度は最も高い。(日本細菌学会)
海外に存在するが、改 良が望ましいもの	腸チフスワクチン	4.0	3.0	7.0	2	△	△	—	—	◎		海外での優先度は高い。(日本細菌学会)
海外に存在するが、改 良が望ましいもの	コレラワクチン	4.0	3.0	7.0	2	△	△	—	—	○		海外での優先度は高い。(日本細菌学会)
その他	A群溶連菌ワクチン	4.0	2.0	6.0	3	◎	△	◎	◎	—		病原性の高さから優先度は高い。(日本細菌学会)
海外に存在するが、改 良が望ましいもの	DTP-IPV-HBV-Hib/DPT-IPV-Hib/DPT-IPV-HBV	3.0	2.0	5.0	4	—	—	—	—	—		現時点での優先度は高いものではない。(日本細菌学会)
その他	黄色ブドウ球菌ワクチン	3.0	2.0	5.0	4	◎	◎	◎	◎	—		優先度は高いとは言えない。(日本細菌学会)
その他	MRSAワクチン	3.0	2.0	5.0	4	◎	◎	◎	◎	—		優先度は高いとは言えない。(日本細菌学会)
その他	マイコプラズマワクチン	3.0	2.0	5.0	4	◎	△	◎	○	—		ワクチンの有用性は確定されていない。(日本細菌学会)
その他	院内感染予防ワクチン	2.0	1.0	3.0	5	—	—	—	—	—		優先度は高いとは言えない。(日本細菌学会)
混合 ワクチン	デング熱ワクチン					○	△	◎	◎	◎		
混合 ワクチン	マラリアワクチン					△	△	◎	◎	◎		
混合 ワクチン	ウエストナイルワクチン					△	△	○	○	○		
渡航者 ワクチン	熱帯病ウイルスワクチン					△	△	△	△	△		
渡航者 ワクチン	インフルエンザ					◎	○	◎	◎	—		
その他	ムンプス (日本株でもJeryl-Lynn株でもないもの)					◎	△	—	—	—		
その他	HPV(4価より多いもの)					○ (4価以外)	○ (4価以外)	◎	◎	—	第III相臨床試験	
改良 ワクチン (既存あり)	PCV(13価より多いもの)					○ (13価以外)	△ (13価以外)	○	△	—		
改良 ワクチン (既存あり)	HBVワクチン					△ or ◎	△ or ◎	◎	◎	—		
海外に存在するが、改 良が望ましいもの	MMR/MMRV/MRV					—	—	—	—	—		
海外に存在するが、改 良が望ましいもの	A-B型肝炎混合ワクチン					—	—	—	—	◎		
海外に存在するが、改 良が望ましいもの	インフルエンザ(経鼻)					◎	○	—	—	—		
海外に存在するが、改 良が望ましいもの	带状疱疹ワクチン					◎	△	—	—	—		
海外に存在するが、改 良が望ましいもの	ダニ媒介性脳炎ワクチン					△	△	—	—	○		
その他	ノロウイルスワクチン					◎	○	◎	◎	—		
その他	HIVワクチン					○	△	◎	◎	—		
その他	RSVワクチン					◎	△	◎	◎	—		
その他	手足口病ワクチン					◎	△	◎	○	—		
その他	パルボウイルスワクチン					◎	△	◎	○	—		
その他	サイトメガロウイルスワクチン					◎	△	◎	○	—	第II相臨床試験	
その他	単純ヘルペスワクチン					◎	△	◎	○	—		
その他	EBウイルスワクチン					◎	△	◎	○	—		
その他	C型肝炎ワクチン					△ or ◎	△ or ◎	◎	◎	—		

注) 疾病負荷については、感染症発生動向調査、死亡統計及び論文情報等を基に、結核感染症課があくまで目安として暫定的に分類したものであり、科学的な評価を経たものではない。

開発の進捗状況については、日本ワクチン産業協会からいただいた情報であり、空欄のワクチンについても研究機関などにおいて基礎研究などが実施されている可能性はある。

◎: 患者又は死亡者が多くみられる

○: 患者又は死亡者が一定程度みられる

△: 患者又は死亡者の数は多くない

海外にも存在しないワクチン

分類	ワクチン	国内の優先度 (5点)	世界の優先度 (3点)	合計点	順位	疾病負荷(国内)		疾病負荷(海外)		流行地への 渡航者数	開発の進捗 (国内)	コメント
						罹患	死亡	罹患	死亡			
渡航者 ワクチン	インフルエンザ	5.0	3.0	8.0	1	◎	○	◎	◎	—		
渡航者 ワクチン	百日咳ワクチン (無菌体でも全菌体でもないもの)	5.0	3.0	8.0	1	◎	△	◎	◎	—		
その他	ムンプス (日本株でもJeryl-Lynn株でもないもの)	5.0	3.0	8.0	1	◎	△	—	—	—		
改良 ワクチン (既存あり)	HBVワクチン	5.0	3.0	8.0	1	△ or ◎	△ or ◎	◎	◎	—		
海外に存在するが、改良が 望ましいもの	DTP-IPV-HBV-Hib/DPT-IPV-Hib/DPT-IPV-HBV	5.0	3.0	8.0	1	—	—	—	—	—		
海外に存在するが、改良が 望ましいもの	インフルエンザ(経鼻)	5.0	3.0	8.0	1	◎	○	—	—	—		
その他	ノロウイルスワクチン	5.0	3.0	8.0	1	◎	○	◎	◎	—		
その他	HIVワクチン	5.0	3.0	8.0	1	○	△	◎	◎	—		
その他	RSVワクチン	5.0	3.0	8.0	1	◎	△	◎	◎	—		
その他	パルボウイルスワクチン	5.0	3.0	8.0	1	◎	△	◎	○	—		
その他	A群溶連菌ワクチン	5.0	3.0	8.0	1	◎	△	◎	◎	—		
その他	C型肝炎ワクチン	5.0	3.0	8.0	1	△ or ◎	△ or ◎	◎	◎	—		
海外に存在するが、改良が 望ましいもの	MMR/MMRV/MRV	5.0	2.0	7.0	2	—	—	—	—	—		
海外に存在するが、改良が 望ましいもの	帯状疱疹ワクチン	5.0	2.0	7.0	2	◎	△	—	—	—		
海外に存在するが、改良が 望ましいもの	腸チフスワクチン	4.0	3.0	7.0	2	△	△	—	—	◎		
混合 ワクチン	デング熱ワクチン	3.0	3.0	6.0	3	○	△	◎	◎	◎		
混合 ワクチン	マラリアワクチン	3.0	3.0	6.0	3	△	△	◎	◎	◎		
渡航者 ワクチン	結核ワクチン(non-BCG)	3.0	3.0	6.0	3	◎	◎	◎	◎	◎		
その他	MRSAワクチン	3.0	3.0	6.0	3	◎	◎	◎	◎	—		
その他	HPV(4価より多いもの)	3.0	2.0	5.0	4	○ (4価以外)	○ (4価以外)	◎	◎	—	第III相臨床試験	
改良 ワクチン (既存あり)	PCV(13価より多いもの)	3.0	2.0	5.0	4	○ (13価以外)	△ (13価以外)	○	△	—		
海外に存在するが、改良が 望ましいもの	髄膜炎菌ワクチン	3.0	2.0	5.0	4	△	△	—	—	◎		
海外に存在するが、改良が 望ましいもの	ダニ媒介性脳炎ワクチン	3.0	2.0	5.0	4	△	△	—	—	○		
その他	黄色ブドウ球菌ワクチン	2.0	3.0	5.0	4	◎	◎	◎	◎	—		
その他	手足口病ワクチン	3.0	2.0	5.0	4	◎	△	◎	○	—		
混合 ワクチン	ウエストナイルワクチン	2.0	2.0	4.0	5	△	△	○	○	○		
海外に存在するが、改良が 望ましいもの	A-B型肝炎混合ワクチン	3.0	1.0	4.0	5	—	—	—	—	◎		
海外に存在するが、改良が 望ましいもの	コレラワクチン	2.0	2.0	4.0	5	△	△	—	—	○		
その他	マイコプラズマワクチン	3.0	2.0	5.0	5	◎	△	◎	○	—		
その他	サイトメガロウイルスワクチン	2.0	2.0	4.0	6	◎	△	◎	○	—	第II相臨床試験	
その他	単純ヘルペスワクチン	2.0	1.0	3.0	7	◎	△	◎	○	—		
その他	EBウイルスワクチン	2.0	1.0	3.0	7	◎	△	◎	○	—		
その他	院内感染予防ワクチン	2.0	1.0	3.0	7	—	—	—	—	—		
渡航者 ワクチン	熱帯病ウイルスワクチン	1.0	1.0	2.0	8	△	△	△	△	△		

注) 疾病負荷については、感染症発生動向調査、死亡統計及び論文情報等を基に、結核感染症課があくまで目安として暫定的に分類したものであり、科学的な評価を経たものではない。

開発の進捗状況については、日本ワクチン産業協会からいただいた情報であり、空欄のワクチンについても研究機関などにおいて基礎研究などが実施されている可能性はある。

◎: 患者又は死亡者が多くみられる

○: 患者又は死亡者が一定程度みられる

△: 患者又は死亡者の数は多くない

海外にも存在しないワクチン

分類	ワクチン	国内の優先度 (5点)	世界の優先度 (3点)	合計点	順位	疾病負荷(国内)		疾病負荷(海外)		流行地への 渡航者数	開発の進捗 (国内)	コメント
						罹患	死亡	罹患	死亡			
その他	RSVワクチン	4.9	2.6	7.5	1	◎	△	◎	◎	—		
その他	ノロウイルスワクチン	4.7	2.7	7.4	2	◎	○	◎	◎	—		
その他	HIVワクチン	4.6	2.7	7.4	2	○	△	◎	◎	—		
その他	サイトメガロウイルスワクチン	4.6	2.7	7.4	2	◎	△	◎	○	—	第II相臨床試験	
その他	C型肝炎ワクチン	4.6	2.7	7.4	2	△ or ◎	△ or ◎	◎	◎	—		
渡航者 ワクチン	インフルエンザ	4.7	2.6	7.3	3	◎	○	◎	◎	—		
海外に存在するが、改 良が望ましいもの	DTP-IPV-HBV-Hib/DPT-IPV-Hib/DPT-IPV-HBV	4.7	2.5	7.2	4	—	—	—	—	—		
渡航者 ワクチン	百日咳ワクチン (無菌体でも全菌体でもないもの)	4.3	2.7	7.0	5	◎	△	◎	◎	—		
改良 ワクチン (既存あり)	PCV(13価より多いもの)	4.5	2.5	7.0	5	○ (13価以外)	△ (13価以外)	○	△	—		
海外に存在するが、改 良が望ましいもの	MMR/MMRV/MRV	4.6	2.4	6.9	6	—	—	—	—	—		
その他	単純ヘルペスワクチン	4.4	2.4	6.9	6	◎	△	◎	○	—		
その他	ムンプス (日本株でもJeryl-Lynn株でもないもの)	4.5	2.3	6.8	7	◎	△	—	—	—		
海外に存在するが、改 良が望ましいもの	髄膜炎菌ワクチン	4.0	2.8	6.8	7	△	△	—	—	◎		
海外に存在するが、改 良が望ましいもの	A-B型肝炎混合ワクチン	4.2	2.5	6.7	8	—	—	—	—	◎		
海外に存在するが、改 良が望ましいもの	インフルエンザ(経鼻)	4.4	2.3	6.7	8	◎	○	—	—	—		
混合 ワクチン	マラリアワクチン	3.6	3.0	6.6	9	△	△	◎	◎	◎		
その他	A群溶連菌ワクチン	4.3	2.3	6.6	9	◎	△	◎	◎	—		
混合 ワクチン	デング熱ワクチン	3.7	2.8	6.5	10	○	△	◎	◎	◎		
改良 ワクチン (既存あり)	HBVワクチン	4.2	2.3	6.5	10	△ or ◎	△ or ◎	◎	◎	—		
その他	マイコプラズマワクチン	4.1	2.3	6.4	11	◎	△	◎	○	—		
渡航者 ワクチン	結核ワクチン(non-BCG)	4.0	2.3	6.3	12	◎	◎	◎	◎	◎		
その他	HPV(4価より多いもの)	4.1	2.3	6.3	12	○ (4価以外)	○ (4価以外)	◎	◎	—	第III相臨床試験	
その他	EBウイルスワクチン	4.0	2.3	6.3	12	◎	△	◎	○	—		
混合 ワクチン	ウエストナイルワクチン	3.3	2.8	6.1	13	△	△	○	○	○		
海外に存在するが、改 良が望ましいもの	帯状疱疹ワクチン	4.0	2.1	6.1	13	◎	△	—	—	—		
その他	MRSAワクチン	4.0	2.1	6.1	13	◎	◎	◎	◎	—		
その他	バルボウイルスワクチン	3.9	2.1	6.0	14	◎	△	◎	○	—		
海外に存在するが、改 良が望ましいもの	腸チフスワクチン	3.5	2.4	5.9	15	△	△	—	—	◎		
その他	院内感染予防ワクチン	3.8	2.1	5.9	15	—	—	—	—	—		
海外に存在するが、改 良が望ましいもの	コレラワクチン	3.1	2.3	5.3	16	△	△	—	—	○		
その他	手足口病ワクチン	3.6	2.1	5.8	16	◎	△	◎	○	—		
その他	黄色ブドウ球菌ワクチン	3.5	2.1	5.6	17	◎	◎	◎	◎	—		
海外に存在するが、改 良が望ましいもの	ダニ媒介性脳炎ワクチン	2.8	2.3	5.1	18	△	△	—	—	○		
渡航者 ワクチン	熱帯病ウイルスワクチン	2.7	2.2	4.9	19	△	△	△	△	△		

注) 疾病負荷については、感染症発生動向調査、死亡統計及び論文情報等を基に、結核感染症課があくまで目安として暫定的に分類したものであり、科学的な評価を経たものではない。

開発の進捗状況については、日本ワクチン産業協会からいただいた情報であり、空欄のワクチンについても研究機関などにおいて基礎研究などが実施されている可能性はある。

◎: 患者又は死亡者が多くみられる

○: 患者又は死亡者が一定程度みられる

△: 患者又は死亡者の数は多くない

海外にも存在しないワクチン

分類	ワクチン	国内の優先度 (5点)	世界の優先度 (3点)	合計点	順位	疾病負荷(国内)		疾病負荷(海外)		流行地への 渡航者数	開発の進捗 (国内)	コメント
						罹患	死亡	罹患	死亡			
渡航者 ワクチン	インフルエンザ	5.0	3.0	8.0	1	◎	○	◎	◎	—		有効性の向上が必要(日本ワクチン学会)
海外に存在するが、改良 が望ましいもの	MMR/MMRV/MRV	5.0	3.0	8.0	1	—	—	—	—	—		MMRは是非必要。MRVも国内開発可能。(日本ワクチン学会)
海外に存在するが、改良 が望ましいもの	DTP-IPV-HBV-Hib/DPT-IPV-Hib/DPT-IPV-HBV	5.0	3.0	8.0	1	—	—	—	—	—		5価は可及的速やかに開発し、6価までもっていく。(日本ワクチン学会)
海外に存在するが、改良 が望ましいもの	髄膜炎菌ワクチン	5.0	3.0	8.0	1	△	△	—	—	◎		渡航者ワクチンとして早期承認発売。(日本ワクチン学会)
海外に存在するが、改良 が望ましいもの	腸チフスワクチン	5.0	3.0	8.0	1	△	△	—	—	◎		渡航者ワクチンとして早期承認発売。(日本ワクチン学会)
その他	ノロウイルスワクチン	5.0	3.0	8.0	1	◎	○	◎	◎	—		乳児から高齢者まで毎年大きな流行あり。(日本ワクチン学会)
その他	RSVワクチン	5.0	3.0	8.0	1	◎	△	◎	◎	—		毎年乳幼児に流行し、重症化例もある。(日本ワクチン学会)
混合 ワクチン	デング熱ワクチン	4.0	3.0	7.0	2	○	△	◎	◎	◎		日脳ワクチン開発の実績がある。東南アジア最大の感染症のひとつ(日本ワクチン学会)
渡航者 ワクチン	百日咳ワクチン (無菌体でも全菌体でもないもの)	4.0	3.0	7.0	2	◎	△	◎	◎	—		有効性の向上が必要(日本ワクチン学会)
その他	ムンプス (日本株でもJeryl-Lynn株でもないもの)	5.0	2.0	7.0	2	◎	△	—	—	—		髄膜炎率が低く、有効性がより高いワクチンが必要。特に国内で。(日本ワクチン学会)
その他	HPV(4価より多いもの)	4.0	3.0	7.0	2	○ (4価以外)	○ (4価以外)	◎	◎	—	第III相臨床試験	カバー率を上げる(日本ワクチン学会)
改良 ワクチン (既存あり)	PCV(13価より多いもの)	4.0	3.0	7.0	2	○ (13価以外)	△ (13価以外)	○	△	—		カバー率を上げる(日本ワクチン学会)
海外に存在するが、改良 が望ましいもの	インフルエンザ(経鼻)	5.0	2.0	7.0	2	◎	○	—	—	—		米国では既に実用化されている(生) 不活化は長年我が国でも研究されている。(日本ワクチン学会)
海外に存在するが、改良 が望ましいもの	带状疱疹ワクチン	5.0	2.0	7.0	2	◎	△	—	—	—		日本発ワクチンの適応をさらに拡大する。(日本ワクチン学会)
その他	HIVワクチン	4.0	3.0	7.0	2	○	△	◎	◎	—		世界的に最重要ワクチンのひとつ(日本ワクチン学会)
混合 ワクチン	マラリアワクチン	3.0	3.0	6.0	3	△	△	◎	◎	◎		世界的には最重要ワクチン(日本ワクチン学会)
改良 ワクチン (既存あり)	HBVワクチン	4.0	2.0	6.0	3	△ or ◎	△ or ◎	◎	◎	—		型の違いや感染防御抗原に工夫を加える(日本ワクチン学会)
海外に存在するが、改良 が望ましいもの	A-B型肝炎混合ワクチン	4.0	2.0	6.0	3	—	—	—	—	◎		米国ではHAもHBも小児のルーチンに入ってきている(日本ワクチン学会)
混合 ワクチン	ウエストナイルワクチン	3.0	2.0	5.0	4	△	△	○	○	○		日本脳炎ワクチンの実績がある(日本ワクチン学会)
渡航者 ワクチン	結核ワクチン(non-BCG)	3.0	2.0	5.0	4	◎	◎	◎	◎	◎		世界的には最重要ワクチン 有効性の向上と副反応の軽減が必要(日本ワクチン学会)
その他	黄色ブドウ球菌ワクチン	3.0	2.0	5.0	4	◎	◎	◎	◎	—		
その他	MRSAワクチン	3.0	2.0	5.0	4	◎	◎	◎	◎	—		
その他	手足口病ワクチン	3.0	2.0	5.0	4	◎	△	◎	○	—		
その他	パルボウイルスワクチン	3.0	2.0	5.0	4	◎	△	◎	○	—		
その他	サイトメガロウイルスワクチン	3.0	2.0	5.0	4	◎	△	◎	○	—	第II相臨床試験	
その他	単純ヘルペスワクチン	3.0	2.0	5.0	4	◎	△	◎	○	—		
その他	EBウイルスワクチン	3.0	2.0	5.0	4	◎	△	◎	○	—		
その他	マイコプラズマワクチン	3.0	2.0	5.0	4	◎	△	◎	○	—		
その他	A群溶連菌ワクチン	3.0	2.0	5.0	4	◎	△	◎	◎	—		
その他	C型肝炎ワクチン	3.0	2.0	5.0	4	△ or ◎	△ or ◎	◎	◎	—		世界的にキャリアーが多く、肝がんの原因になる。HA-HB-HC混合ワクチンもめざす(日本ワクチン学会)
海外に存在するが、改良 が望ましいもの	コレラワクチン	2.0	2.0	4.0	5	△	△	—	—	○		
海外に存在するが、改良 が望ましいもの	ダニ媒介性脳炎ワクチン	2.0	2.0	4.0	5	△	△	—	—	○		
渡航者 ワクチン	熱帯病ウイルスワクチン	1.0	1.0	2.0	6	△	△	△	△	△		具体性がない(日本ワクチン学会)
その他	院内感染予防ワクチン	1.0	1.0	2.0	6	—	—	—	—	—		現実的でない。(日本ワクチン学会)

注)疾病負荷については、感染症発生動向調査、死亡統計及び論文情報等を基に、結核感染症課があくまで目安として暫定的に分類したものであり、科学的な評価を経たものではない。

開発の進捗状況については、日本ワクチン産業協会からいただいた情報であり、空欄のワクチンについても研究機関などにおいて基礎研究などが実施されている可能性はある。

◎: 患者又は死亡者が多くみられる

○: 患者又は死亡者が一定程度みられる

△: 患者又は死亡者の数は多くない

海外にも存在しないワクチン

分類	ワクチン	国内の優先度 (5点)	世界の優先度 (3点)	合計点	順位	疾病負荷(国内)		疾病負荷(海外)		流行地への 渡航者数	開発の進捗 (国内)	コメント
						罹患	死亡	罹患	死亡			
改良 ワクチン (既存あり)	結核ワクチン(non-BCG)	5.0	3.0	8.0	1	◎	◎	◎	◎	◎		
改良 ワクチン (既存あり)	インフルエンザ	5.0	3.0	8.0	1	◎	○	◎	◎	—		
改良 ワクチン (既存あり)	百日咳ワクチン (無菌体でも全菌体でもないもの)	5.0	3.0	8.0	1	◎	△	◎	◎	—		
その他	黄色ブドウ球菌ワクチン	5.0	3.0	8.0	1	◎	◎	◎	◎	—		
その他	MRSAワクチン	5.0	3.0	8.0	1	◎	◎	◎	◎	—		
その他	ノロウイルスワクチン	5.0	3.0	8.0	1	◎	○	◎	◎	—		
その他	HIVワクチン	5.0	3.0	8.0	1	○	△	◎	◎	—		
その他	RSVワクチン	5.0	3.0	8.0	1	◎	△	◎	◎	—		
その他	C型肝炎ワクチン	5.0	3.0	8.0	1	△ or ◎	△ or ◎	◎	◎	—		
その他	院内感染予防ワクチン	5.0	3.0	8.0	1	—	—	—	—	—		
改良 ワクチン (既存あり)	ムンプス (日本株でもJeryl-Lynn株でもないもの)	5.0	3.0	7.0	2	◎	△	—	—	—		
渡航者 ワクチン	デング熱ワクチン	3.0	3.0	6.0	3	○	△	◎	◎	◎		
渡航者 ワクチン	マラリアワクチン	4.0	3.0	6.0	3	△	△	◎	◎	◎		
渡航者 ワクチン	ウエストナイルワクチン	3.0	3.0	6.0	3	△	△	○	○	○		
渡航者 ワクチン	熱帯病ウイルスワクチン	3.0	3.0	6.0	3	△	△	△	△	△		
改良 ワクチン (既存あり)	HPV(4価より多いもの)	4.0	3.0	6.0	3	○ (4価以外)	○ (4価以外)	◎	◎	—	第III相臨床試験	
改良 ワクチン (既存あり)	PCV(13価より多いもの)	4.0	3.0	6.0	3	○ (13価以外)	△ (13価以外)	○	△	—		
その他	手足口病ワクチン	4.0	2.0	6.0	3	◎	△	◎	○	—		
その他	パルボウイルスワクチン	4.0	2.0	6.0	3	◎	△	◎	○	—		
その他	サイトメガロウイルスワクチン	4.0	2.0	6.0	3	◎	△	◎	○	—	第II相臨床試験	
その他	単純ヘルペスワクチン	4.0	2.0	6.0	3	◎	△	◎	○	—		
その他	EBウイルスワクチン	4.0	2.0	6.0	3	◎	△	◎	○	—		
その他	マイコプラズマワクチン	4.0	2.0	6.0	3	◎	△	◎	○	—		
その他	A群溶連菌ワクチン	3.0	2.0	6.0	3	◎	△	◎	◎	—		
改良 ワクチン (既存あり)	HBVワクチン	3.0	3.0	5.0	4	△ or ◎	△ or ◎	◎	◎	—		
海外に存在するが、改良が望ましいもの	MMR/MMRV/MRV	3.0	3.0	4.0	5	—	—	—	—	—		
海外に存在するが、改良が望ましいもの	DTP-IPV-HBV-Hib/DPT-IPV-Hib/DPT-IPV-HBV	3.0	3.0	4.0	5	—	—	—	—	—		
海外に存在するが、改良が望ましいもの	A-B型肝炎混合ワクチン	3.0	1.0	4.0	5	—	—	—	—	◎		
海外に存在するが、改良が望ましいもの	インフルエンザ(経鼻)	3.0	3.0	4.0	5	◎	○	—	—	—		
海外に存在するが、改良が望ましいもの	带状疱疹ワクチン	3.0	3.0	4.0	5	◎	△	—	—	—		
海外に存在するが、改良が望ましいもの	髄膜炎菌ワクチン	3.0	3.0	4.0	5	△	△	—	—	◎		
海外に存在するが、改良が望ましいもの	腸チフスワクチン	3.0	3.0	4.0	5	△	△	—	—	◎		
海外に存在するが、改良が望ましいもの	コレラワクチン	3.0	3.0	4.0	5	△	△	—	—	○		
海外に存在するが、改良が望ましいもの	ダニ媒介性脳炎ワクチン	3.0	3.0	4.0	5	△	△	—	—	○		

注) 疾病負荷については、感染症発生動向調査、死亡統計及び論文情報等を基に、結核感染症課があくまで目安として暫定的に分類したものであり、科学的な評価を経たものではない。

開発の進捗状況については、日本ワクチン産業協会からいただいた情報であり、空欄のワクチンについても研究機関などにおいて基礎研究などが実施されている可能性はある。

◎: 患者又は死亡者が多くみられる

○: 患者又は死亡者が一定程度みられる

△: 患者又は死亡者の数は多くない